

令和7年度第2回補助金等審議会記録			記録者	財政課	場 所	本庁舎3階 301会議室
実施日	令和7年9月30日(火)		時間	午後2時30分から午後4時45分		
概 要 質 疑 等						
課等名						
事 業 名	番号	内 容			回 答 ま た は 措 置	
文化スポーツ課 14:45～15:10						
神栖市子ども会育成連合会	1	自身が子どもの頃は、子ども会は強制加入であったと記憶していますが、現在は希望する人が加入することによってよろしいですか。			現在は、地域の子ども会育成会の方が、新しく小学校1年生になる子どもがいる世帯に訪問し、加入するかしないかの確認を行っています。	
	2	募集活動の結果、加入率はどの程度でしょうか。			神栖市では、令和6年度の加入率は25.9%、令和7年度では21.7%となっています。	
	3	令和6年度の実績報告の中で、会議費に5万8500円計上されていて、その内訳は総会資料印刷代が3万4100円、花代が1万円、お茶代が1万4400円となっています。ここに補助金充当額が3万円となっています。補助金が充当された経費を教えてください。			補助金は総会資料印刷代に充当しております。	
	4	加入率が25%を下回った中で、団体のあり方を考えていかなければならないと思います。調査表には、会員数の減少に対し、有効な手段を模索していると書かれていますが、保護者の負担軽減のための理事制度見直しに関し、具体的にどのような見直しをされたのか教えてください。			理事制度見直しについては、これまで理事になった方は理事会出席のほか、イベントスタッフとしての役割も担っていただいております。負担が大きい状況であったため、理事会への出席のみをお願いする形にしました。イベントスタッフについては、理事以外の各子ども会の育成者の方をお願いすることとしました。	
	5	現在の各地域の子ども会の数を教えてください。			令和7年度現在の子ども会数は48です。各学区で申し上げますと、軽野が8、軽野東が3、横瀬が5、息栖が5、大野原が3、大野原西が2、波崎が2、波崎西が2、やたべ土合が5、太田が3、須田が5、柳川が4、植松が1となります。	
	6	指導者研修会の事業費について、令和6年度は約38万円、令和7年度は約1万7千円、令和8年度は2回で12万円予定となっていますが、金額が大きく異なる理由を教えてください。			指導者研修会は、常任理事会において、内容を決定しているものであるため、毎年内容が異なり、事業費も変わってきます。令和6年度が高額になった理由は、各単位子ども会の活動費が会員減少のため少額になっていることから、単位子ども会のイベントで使えるような物品を配布したことによるものです。	

概 要 質 疑 等			
課等名			
事 業 名	番号	内 容	回 答 ま た は 措 置
教育指導課 15:10～15:30			
神栖市PTA連絡協議会	1	指導者研修会や、子育てネットワーク委員会、父親委員会と分かれて活動されていますが、具体的にはどのようなことをされているのでしょうか。	子育てネットワーク委員会では、令和6年度は親子で参加するバスボムづくりを実施しました。親子で活動することを念頭に置いた内容が中心となってきました。 父親委員会では、保護者を中心として学ぶことを念頭に置いた活動をしています。 今後は、子育てネットワーク委員会と父親委員会を統合し、より充実したものにしていくことを検討中です。
	2	講師料が4万円となっており、負担が大きいように思います。会員の中で講師を選ぶことや、市が紹介できる方をお願いすることなどについて、どのように考えますか。	経費削減の視点からも、会員の中から講師を選ぶことも選択肢の一つであると思います。 一方で、令和6年度については、千葉県にある特別支援学校の先生をお招きするなど、神栖市PTA連絡協議会という、スケールメリットを活かして、単位PTAでは招待することが難しいような方を選んでいところもございます。
	3	各事業の参加人数を教えてください。	令和6年度の父親委員会の事業では、60名ほどの参加でした。 子育てネットワーク委員会の事業でも、同程度の参加者ですが、子供も参加しているため、子育てネットワーク委員会の方が多いと思います。
	4	全国でも、上位組織から脱退する例があります。上位組織への負担金について、経費に占める割合が大きく、毎年その解消を指摘していますが、その対策をどのように考えていますか。	県東地区PTA連絡協議会は令和8年度から負担金を徴収しない旨、連絡をうけており、課題解決の一步であると考えております。 茨城県PTA連絡協議会への負担金については、引き続きその減額について要望してまいりたいと考えております。
	5	令和6年度の実績報告では、上位組織への負担金に対する補助金の充当率が一番高くなっています。補助金の充当を事業費中心にすることは出来ますか。	補助金の充当先については、今後見直しを含めて精査させていただきます。

概 要 質 疑 等			
課等名			
事 業 名	番号	内 容	回 答 ま た は 措 置
防災安全課 15:30～15:50			
神栖市防火クラブ	1	会員になるための条件として年齢制限を設けていますか。	年齢制限は設けていません。
	2	普及啓発について、消費生活展で物資を配布しているとのことですが、もらう側に防火の意識があまりないように感じます。	以前は、防火クラブの会員で、独居高齢者宅を戸別訪問し、消火器の普及啓発を行っていたのですが、新型コロナにより現在は行っていない状況です。 現在は、消防出初式に参加して啓発活動を行っているほか、防災訓練では炊き出しを行っています。今後も、普及啓発に重点を置いて、取り組みを行ってまいります。
	3	男性の加入もできるように規約を見直し、団体名称も変更したとのことですが、現在の男性会員数を教えてください。	現在、男性会員はおりません。
	4	補助金の多くが日当に充当されています。交通費などの名称に変更し、規約の中にその支給規定を明記するべきではないでしょうか。	ご指摘を踏まえ、検討いたします。
	5	【意見】 日当の件は、以前も指摘されている事項であるため、事務局である行政がしっかりサポートし、善処していただきたい。	

概 要 質 疑 等			
課等名			
事 業 名	番号	内 容	回 答 また は 措 置
障がい福祉課 15:55～16:10			
神栖市身体障害者福祉協議会	1	【意見】 身体障害者福祉協議会の活動自体が公益であると思います。今後も、取り組んでいただければと思います。	
	2	【意見】 団体を通じて、障害者の方々と健常者の方々が、一緒に活動することで、お互いに理解が深まり、生活しやすい環境が生まれてくると思います。	
	3	身体障害者福祉協議会となっていますが、会員は身体の障害者に限られているのでしょうか。	身体の障害者以外の会員もおります。 会員数が減少していることを課題と考えています。
	4	【意見】 団体を組織として運営していくことを考えると、一番の課題は会員数の減少だと思います。改善するのは大変な努力が必要かと思いますが、行政がしっかりとサポート体制を構築して、改善に向けて進んでいっていただきたい。	

概 要 質 疑 等			
課等名			
事 業 名	番号	内 容	回 答 また は 措 置
社会福祉課 16:10～16:40			
神栖市遺族会	1	会員数が131名とありますが、どのような方々なのでしょう。	正会員は、亡くなられた戦没者の奥様、未成年の子供、また、父親母親となります。それ以外の遺族が準会員としています。 正会員は、令和6年度に0名となりましたので、現在は準会員で構成されています。
	2	毎年総会を開催されています。総会の議決権は正会員のみが持つことが通例かと思いますが、正会員がいない状況で、どのように総会が開催されているのでしょうか。	正会員と準会員は会費に違いはありますが、その他は会員として違いはないため、総会も準会員のみで開催しています。
	3	補助金の公益性の観点からみると、事業が会員内で行われていることに疑問を感じる。各種事業において一般にも参加を呼びかけることはできないのでしょうか。	遺族会は戦争のない平和を願う団体であり、その団体で活動すること自体が公益性があると考えています。 また、団体の活動に一般からの参加を募ることは、戦争をどのように伝えていくのかという観点からも、全国的に課題になっていると思います。今後は、市の追悼式において、一般の方の参列者を募るなど検討します。
	4	【意見】 市の追悼式や参拝研修については、関心を持たれる方がいると思います。一般からの参加者について、検討いただきたい。	